

ヤナセ YX 360

コラムニスト・本多

皆さんこんにちは 本多です。

突然ですが 輸入車販売業者のヤナセって皆さんご存知だと思います。今では高級輸入車販売店の老舗ですが、まだ若い時代の1950年代のヤナセでは自社で車(軽自動車)を試作していました。モーターファン誌1957年12月号のニューモデル紹介に出ているヤナセ YX 360と言うモデルです。当時としてはとてもよくできていて内装や仕上がりも良くスタイルも丸っこい 感じで可愛い車両でした。色々なテストドライブでもノントラブルだったという優秀な仕上がりでしたが、生産するにあたってはやはり負担が大きすぎるということで 試作車1台のみで計画は終わってしまいました。

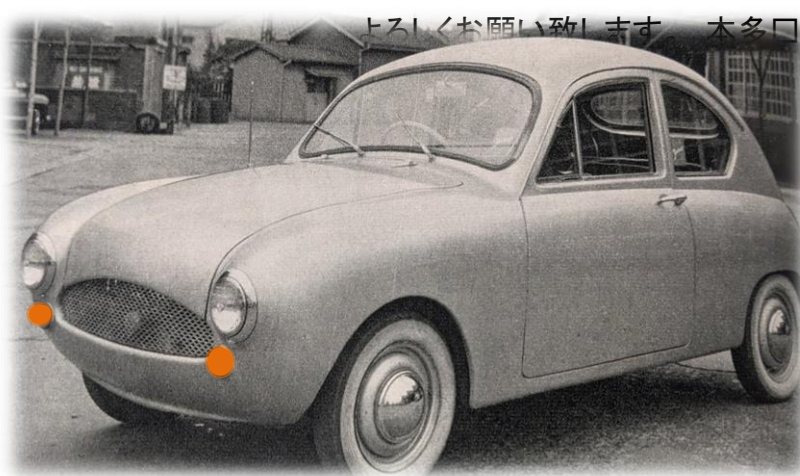
でも、特筆すべきはそこに使われていたエンジンです！ 車重に対してちょっとアンダーパワーだったそうですが、それはなんとライラックの350ccだったということです。1956年の春には試作車は完成していたということですから、その時のライラックの350cc と言うとTWDドラゴンや SWランサーなどに乗せられていたサイドバルブの水平対向2気筒エンジンになると思います。自動車に搭載するにあたり各気筒ワンキャブずつにして性能の向上を計っておりました。

へえ～ライラックも エンジンベースとして使われたりしたんだ～♪

ヤナセが頑張ってもこの車両を量産化したら、もしかしたら 丸正自動車の未来もまた変わっていたのかもしれないね～。

ちょっと夢のあるお話でした。(^^)//

以上ここまで。



ヤナセYX360はかなり念入りにテストドライブしたそうですがノントラブルということでしたからエンジンもオーバーヒート等は無かったのでしょうかね。空冷ですから冷却ファンを付けていたのかもしれませんが、そこはハッキリとはわかりません。発売してほしかったですね☒

